



# 木曽林務課だより

## 5月

寒暖の激しい5月を迎え、木曽ではほう葉巻きを美味しくいただくシーズンが到来しました。今回は、木曽地域の炭焼きの生産振興に尽力され、現在もご活躍されている、大桑村在住の半場洋平さんの特用林産功労者表彰受賞のニュースをお知らせします。

### 全国の特用林産功労者として表彰されました！

—木曽製炭振興協議会長 半場洋平さん(84才) —

日本特用林産振興会が主催する「特用林産功労者表彰」は、地域の特用林産の振興に永年に亘り尽力され、現在も活躍されている個人に贈られるもので、今回は全国で半場洋平さんを始め15名が授賞されました。

表彰式は、令和4年5月27日に東京都のKKRホテルの「朱鷺の間」で行われ、受賞者7名に日本特用林産振興会の小淵優子会長から表彰状が手渡されました。



半場 洋平さん



小淵会長から表彰状を手渡される半場さん

半場さんは、平成9年から炭焼きに取り組み、高い製炭技術を習得され、主に竹炭を生産されています。地元大桑村殿地区では「自然農森倶楽部」の活動として炭焼きを実践するとともに、平成15年から販売先や技術情報の交換ができる「木曽製炭振興協議会」を設立し、現在も会長を務められています。

また、里山整備を進め、竹などの里山資源の有効活用に努めながら、県全域の特用林産振興団体の役員を歴任され、地域リーダーとして信頼の厚い方です。

木曽製炭振興協議会では、製炭技術の伝承とそのすそ野を広げるために、年1回

炭焼き講習会も開催しています。機会があれば、ぜひ参加してみてください。



第35回特用林産功労者表彰式の受賞者と前列中央が来賓の天羽隆林野庁長官と小淵優子会長